

令和4年4月24日

各団団委員長 様
各団事務局 様

日本ボーイスカウト鳥取連盟
理事長 堀部 晴彦
県コミッショナー 坪倉 顕示

今後のスカウト活動について

三指

最近、新型コロナウイルス感染者が3桁の日が続き、鳥取県版新型コロナ警報の特別警報が県内全域に発令されており第7波に入り始めていると言われるなど長丁場を覚悟する必要があります。

このような中、鳥取県は4月21日に「感染防御型のWithコロナ」を提案され、感染防止を徹底して感染拡大を抑えながら、経済・社会を回していくという方針を打ち出しています。

今年は、ボーイスカウト日本連盟創立100周年であり、この夏第18回日本スカウトジャンボリーが開催される予定になっています。新型コロナウイルス感染拡大から約2年間ほとんどの団・隊でのキャンプができておらず、ジャンボリーで初めてキャンプをするスカウトや指導者が発生するというような異常事態も想定され、健康面や安全面などあらゆる部分で大変危惧しています。

ゴールデンウィークは、少しでもキャンプ生活に慣れたり、スキルの取得・復習等に絶好の機会と思われまますので、「鳥取連盟における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」（以下「ガイドライン」という）を遵守していただくとともに、宿泊訓練を計画される隊・団においては、ガイドラインに加えて下記「宿泊訓練を行う場合の注意事項」を厳守して実施をお願いします。

また、ビーバースカウト・カブスカウトの活動については、ガイドラインを遵守して半日までの活動をお願いします。ただし、屋内での活動については、感染リスクが高いことから従来通り2時間以内の活動とします。

各団委員長様におかれては、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を確認していただき、有意義なスカウト活動となるようお願いします。

弥栄

【宿泊訓練を行う場合の注意事項】

- ① 保護者の方の同意
- ② PCR検査（有効期間は採取後3日なので参加2日前の採取）での陰性確認、および当日の健康チェックを徹底
- ③ 不織布マスクを正しく着用し毎日交換（使用したマスクは専用の袋に処理）
- ④ キャンプ場や施設において共用部分の使用については、使用前後の手洗い、手指消毒の徹底、トイレの換気、ドアノブ・手すり・スイッチ等の設備使用前の消毒、定期的な消毒
- ⑤ キャンプ終了後の健康チェックと報告

以上